

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【公表番号】特表 2010-529958 (P2010-529958A)

【公表日】平成 22 年 9 月 2 日 (2010.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2010-035

【出願番号】特願 2010-510812 (P2010-510812)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/14

G 0 1 N 33/53 M

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 3 日 (2011.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬学上許容される担体と、

(i) R d C V F 2 遺伝子のヒト (Homo sapiens) における長鎖アイソフォームのアミノ酸配列 (配列番号 10)、そのオーソログ、誘導体および断片からなる群から選択されるアミノ酸配列を含んでなるポリペプチド；

(i i) 該ポリペプチドをコードするポリヌクレオチド；

(i i i) 該ポリヌクレオチドを含んでなるベクター；および

(i v) 該ポリペプチドを発現する、遺伝学的に操作された宿主細胞からなる群から選択される化合物と含んでなる、医薬組成物。

【請求項 2】

誘導体が、配列番号 10 と少なくとも 75 %、好ましくは少なくとも 85 % の同一性パーセンテージを有するポリペプチドまたはそのオーソログからなる群から選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記断片が、少なくとも 25 個のアミノ酸、好ましくは少なくとも 50 個のアミノ酸の長さを有するポリペプチドである、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

ポリヌクレオチドが、RNA または DNA からなる群から選択され、好ましくは前記ポリヌクレオチドが DNA である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記ポリヌクレオチドが、配列番号 10 の配列をコードする配列を含んでなる、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

ベクターが、プラスミド、ウイルス粒子およびファージからなる群から選択される発現ベクターである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

宿主細胞が、細菌細胞、真菌細胞、昆虫細胞、動物細胞および植物細胞からなる群から選択され、好ましくは宿主細胞が動物細胞である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

神経変性疾患を治療および / または予防するための、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

神経変性疾患が、中枢神経系の変性疾患、光受容体の変性疾患および臭覚ニューロンの変性疾患からなる群から選択されるニューロンの変性に関連する疾病である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

中枢神経系の変性疾患が、アルツハイマー病、パーキンソン病およびハンチントン病 / 舞蹈病からなる群から選択される、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

光受容体の変性疾患が、錐体ジストロフィからなる群から選択される、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

神経変性疾患またはその素因を試験する方法であって、

(i) RdCVF 2 遺伝子および / またはその関連プロモーターにおける突然変異の存在を検出するため、および / または

(i i) RdCVF 2 遺伝子の発現を分析するために
神経変性疾患を有する、またはその素因を有すると思われる被験体由来の生体サンプルを分析する工程を含んでなる、方法。